

# ☆ 議会 そのの



運動会（東小学校）

- 9月定例会 ..... 2 ～ 3 ページ
- 代表質問 ..... 4 ～ 5 ページ
- 5会派
- 常任委員会レポート（決算審査） ..... 6 ～ 7 ページ
- 一般質問（6人） ..... 8 ～ 10 ページ
- 公立幼稚園の3歳児待機児童の解消について
- 介護保険制度と新型インフルエンザ対策について
- 都市基盤整備と道路、河川への取り組みについて
- 住宅マスタープランの住宅施策への展開は
- 市税収入減少への対応について
- 東中南側谷間への土砂搬入の現状と対策は
- その他
- 行政視察レポート ..... 11 ページ

## 9月定例会日程

9月2日(水)	本会議
9月7日(月)	本会議、代表質問
9月8日(火)	本会議、代表質問
9月9日(水)	現地視察
9月10日(木)	産業建設水道委員会
9月11日(金)	産業建設水道委員会
9月14日(月)	文教消防委員会
9月15日(火)	文教消防委員会
9月16日(水)	総務委員会
9月17日(木)	総務委員会
9月24日(木)	厚生委員会
9月25日(金)	厚生委員会
9月28日(月)	本会議、一般質問
9月29日(火)	本会議、一般質問
10月1日(木)	本会議

9月定例会

# 平成20年度

# 一般会計決算は黒字

## 決算総括表

	歳入	歳出	歳入歳出差引額	
一般会計	208億27万8千円	185億8465万9千円	22億1561万9千円	* 1
国民健康保険	43億3422万7千円	41億7883万1千円	1億5539万6千円	
後期高齢者医療	3億1699万8千円	3億1675万6千円	24万2千円	
老人保健	2億8273万円	2億7095万6千円	1177万4千円	
介護保険	21億426万4千円	20億4233万6千円	6192万8千円	
土地取得	80万円	79万9千円	1千円	
十里木高原簡易水道	3207万円	3206万9千円	1千円	
下水道事業	11億5453万6千円	11億5453万5千円	1千円	

		収入	支出	
水道事業会計	収益的	8億973万円	7億9257万2千円	
	資本的	1億2191万8千円	5億4570万3千円	* 2

\* 1 21年度繰り越し財源 5億4793万3千円を控除した収支額は16億6768万6千円

\* 2 不足分 4億2378万5千円は損益勘定留保資金、消費税等で充当

## 決算総括質疑

**質** 市債で借金までして、財政調整基金に積み立てる理由は。

**答** 市税の税収は、今後2〜3年は確実に減収のまま推移すると予測。その後も経済情勢に左右され不透明である。借り入れができるときに借り入れをし、財政調整基金の取り崩しはでき得る限り先送りする。

**質** 低価格入札による品質の確保、落札業者への賃金は保証されているか。

**答** 低入札工事時は積算明細書等の精査をする。工事施工過程においても、品質管理等に重点をおいた監督管理を行う。建設業法で下請けに出すときは、施工体制台帳、施工体系図を提出させ中間及び完成時にチェックする。

**質** 平成20年度決算についてどのように思ったか市長に伺う。

**答** 世界経済が急速に景気後退し、財政を直撃した。このため市債を増やし今後の歳入減、市税減収や支出増、還付金に対応できるよう措置した。また新富士裾野工業団地の大型事業にめどが付き、誘致ができたことは大きな成果である。



全4区画の進出企業が決まった新富士裾野工業団地（須山）



新しい西中学校体育館（佐野）

平成21年度一般会計補正予算（3・4・5回）  
**総額5億8千300万円**

〔主な事業について〕

- |                              |                        |
|------------------------------|------------------------|
| ① 勤労者住宅建設資金の貸付金の増（申請者急増による）  | 補助金他                   |
| ② 男女共同参画プラン策定委託（平成23年度スタート）  | ④ 子育て応援特別手当給付事業交付金他    |
| ③ 住宅用太陽光発電システム・太陽熱高度利用システム設置 | ⑤ 新型インフルエンザ対策用品倉庫設置工事他 |
|                              | ⑥（仮称）神山深良線調査負担金        |

**補正に対する質疑**

**質** 農免道路から神山に抜ける道路の調査負担金  
 今回はどんな調査をするのか、またこれまでの調査で分かったことは何か。

**答** 昨年までは地形的に道路建設が可能か見極めることが主。地質概要調査、2市の土地利用計画調査、ルート検討、概略工事費検討、計画概要書の作成等で道路建設が可能と判明している。本年は、この調査結果をもとに事業実施に向け、さらに詳細な調査を行う必要がある。



市道1-4号線（深良地先）

- ⑦ 深良中学校放送設備取替工事他
- ⑧ わが家の専門家診断事業委託と木造住宅耐震補強助成他
- ⑨ セーフティネット支援対策（経済不況により住宅を喪失した離職者等への生活保護費の増額）



# 代表質問

代表質問では  
会派を代表し  
6人が質問に  
立ちました。

## 限られた予算での 財政見直し

市民クラブ  
高村 謙 二

**Q** 市長の4期に渡る実績・評価、また、5期目への課題をどう捉えているか伺う。

**A** 赤ちゃんからお年寄りまで、健康で安全・安心に生き生きと快適に暮らせるまちづくりの政策を進めてきた。施策は他市に先駆けたものも多く、着実に健康文化都市に近づきつつある。

**Q** 限られた予算の中では、大型事業の見直しや事業のスクラップアンドビルドが必要と考えるがいかがか。

**A** 現在の行政評価システムの評価では、スクラップ部分が弱い状況にあった。予算編成に入る前にヒアリングを実施し、査定を行い、スクラップアンドビルドの土壌を形成していきたい。

## 安全安心の 裾野市構築について

市民クラブ  
増田 喜代子

**Q** 障害者福祉施設の今後の予定はいかがか。

**A** 平成20年度に基本設計を実施。市財政も厳しいが、現在の施設の老朽化や利用者増等を考慮し、授産施設について早期建設に向け前向きに検討していく。

**Q** 大規模災害や有事の際の情報伝達手段としての全国瞬時警報システム「Jアラート」の導入についての考えは。

**A** 「Jアラート」は、大規模災害等が発生したときに市民へ防災情報を早く正確に伝えるために有効なシステムである。国の予算や補助金交付要綱が決まり次第、作業に着手し、本年度から2カ年の予定で整備したい。

**A** 「Jアラート」は、大規模災害等が発生したときに市民へ防災情報を早く正確に伝えるために有効なシステムである。国の予算や補助金交付要綱が決まり次第、作業に着手し、本年度から2カ年の予定で整備したい。



みどり作業所 (佐野)

## 大橋市政4期16年の成果と 次年度以降について

五竜クラブ  
大庭 敏 克

**Q** 5期目に向かっての行政方針、総合計画策定と次年度以降の予算編成に伴う歳入不足への対応について伺う。

**A** すべての事務事業についてゼロベースでの見直しを行い、総合計画の策定については、行政評価による達成状況を、わかりやすく財政的に裏づけのある計画にする。

不足財源については、市債の借り上げ、財政調整基金の取り崩し等で調整したい。

**Q** 人事院勧告に伴う給与・期末・勤勉手当の減額の当市の対応をお伺いしたい。

**A** 国の動向を見ながら、職員組合と協議を重ねて対応する。そのまま実施した場合、3千500万円ほどの減額になる。

**Q** 少子化対応に伴う幼稚園、保育園の一元化、施設の実施時期などを考えるが、伺う。

**A** 行政改革を進める中で、幼保の公設民営化等を方針としている。幼保一元化については、法整備がされている認定こども園を検討の対象としていきたい。

**Q** 授産施設、未就学発達障害児通園施設の実施設設計及び建設工事に着手すべきだが、着手時期を伺う。

**A** 早い時期に実施設計に入り着手する。未就学発達障害児通園施設の開所は、財政状況により検討課題とする。

**Q** 斎場の老朽化に伴う建設計画を長泉町との一部事務組合での共同運用を考える

べきと思うが、お伺いしたい。

**A** 共同運用には、さまざまな問題がある。政策はもとより、利用者の住民に理解が必要。今後とも長泉町との協議は必要である。



障害者施設の建設を検討 (石脇市有地)

## みどり作業所の移転促進と 福祉センター建替えを

新世紀  
八木 長 生

**Q** 市長の5期目挑戦のビジョンと具体的政策をマニフェスト化する考えは。

**A** 市民にとって何が幸せか何がほしいのか。何をすべきなのか探求し、次世代につながる施策を展開していく。市民の幸せを第一とし、日本一暮らしやすいまちづくりを創造できるマニフェストを策



定する。

**Q** 本年移転を予測しスタッフ強化済のみどり作業所の早期移転と本格的福祉センターの建替えの実現を。

**A** 授産施設は早期に進めるが、福祉センター建替えは財政状況を勘案しながら検討する。

**Q** 幼児施設協議会の提言を受け幼稚園3才児待機児童の当面の対策と将来計画は。

**A** 幼稚園のクラス再編による待機児童の緩和、私立幼稚園の授業料の是正と運営費支援を進めていく。

**Q** 裾野日赤と市内開業医との相互補完の医療ネットワーク構築の推進計画を。

**A** 市内の医療機関と裾野赤十字病院の連携関係は構築されている。

**Q** 新県知事の県東部への医科大学設置構想に対応し、裾野へ積極的誘致活動を。

**A** 裾野市に限らず東部地区への医科系大学の誘致ができればと考えている。

**Q** 誘致企業社員のインフラ整備の促進計画は。

**A** 開発に係る道路基準の緩和、市街化区域内の未利

用地の宅地化の研究を進める。

**Q** 温暖化環境対策で小中学校、中小企業、地域、家庭への啓蒙活動の具体化は。

**A** 省エネナビモニター制度の導入やアースファミリー事業の推進を計画していく。

**Q** 岩波駅前の歩行者と車の混雑の安全対策は。

**A** バスなどの回転広場が設置可能か関係機関と協議をしている。



裾野赤十字病院

**循環型社会の推進について**  
 他  
 公明党  
 三 富 美代子

**Q** 資源の有効活用についてどのような研究をされたのか、当市における循環型社会への取り組みについて伺う。

**A** 各区ごとに資源ごみステーションを設け分別収集が行われており、埋め立てごみの中から再度分別して資源となるものを取り出し、粗大ごみも破碎処理し鉄類とアルミ類を選別回収している。生ごみを活用した堆肥化は考えていない。

**Q** 安心できる子育て環境の充実を図るため、公立保育園への民間活力導入について、研究の進捗状況を伺う。

**A** 民間活力導入の先進地視察、また、県内近隣市町等の状況調査を分析し、次世代育成支援対策行動計画を今年度中に作成し検討する。

**Q** スクール・ニューディール構想の一つとして提唱された太陽光発電を公立小中学校へ導入することについての見解を伺う。

**A** 現在設置されている学校は、パイロットモデル事業で南小学校に設置した。今後、須山小学校と富岡中体育館に設置し、その後は財政状況にかんがみ太陽光発電整備の計画を検討していく。



南小学校の太陽光パネル

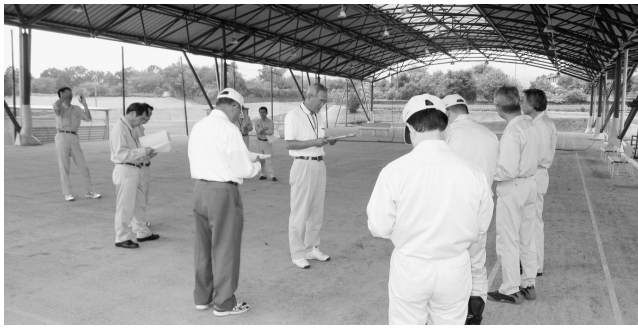
**市外からの土砂搬入を放置している大橋市政**  
 日本共産党  
 小澤 良一

**Q** 裾野市は、市外からの廃棄物搬入で、臭気、騒音等の公害問題で市民に大変迷惑をかけた経緯を踏まえて、前市川市政時代に、「土砂等の搬入を規制する条例」を制定した。ところが、大橋市政になって、この規制を緩和して市外から土砂等の搬入を認め放置する事が生じている。その結果、市民の安心安全が失われるような事が起きている。市長は、搬入事業計画を提示させ、その上で規制外の許可としているのか伺う。



東中学校近くの土砂

**A** 計画書の提出については農地に関する現況変更が提出されている。条例の適用除外は日常の生活または土地管理のため、農地については、耕作土の補充を十分実施することにより農作業の省力化や効率化を図るとともに、作物の成長を促す役割を果たしている。なお、土地利用対策委員会は、土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例と土地利用事業に関する指導要綱により指導している。その当時の県条例と市条例とも、土砂等の搬入元の規制はないが、県外からの搬入は規制している。



総合グラウンド視察（文教消防委員会）



須山下村橋視察（産業建設水道委員会）

産業建設水道委員会

決算額、対前年比減少  
ながらも基盤整備進む

産業建設部

7室の決算総額が39億3千712万円で、一般会計の21.2%となる。歳入・歳出ともに対前年比減少となり、主な要因は街路の佐野茶畑線、民生安定施設道路整備、特定防衛施設道路整備などの道路事業の減少と、平成19年度に発生した台風9号による災害の復旧が2年目となり減少したことによるもの。

主な質疑では、農地の現況届・改良届についての対応、耕作放棄地に関する質疑のほか、須山地先の国道469号沿いの間伐について関係団体等へ働きかけてはどうかとの意見が出されました。  
また、ガーデンシティすそのについて今後の経営見込みのほか、建築リサイクル法に伴う再資源化、TOUKA Iゼロに関する取り組み内容についての質疑がありました。  
公園管理に関しては、地元への公園管理の拡大や、管理

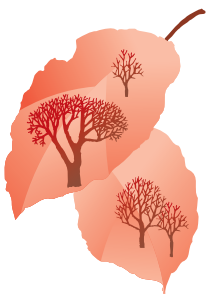
経費の削減を図る検討をするべきとの意見が出されました。

水道部

下水道事業20年度の実績では、石脇・佐野・平松地先を施工し、整備面積は17.1ha、布設管延長は3,987mとなった。市街化区域の整備については平成32年に完了の予定。

水道事業の工事関係では、建設改良工事及び拡張工事等を合わせ85件を施工した。水道管に砂が混じる問題については、配水池の地下水を汲み上げる際の混入が考えられるため、20年度に1箇所、21年度に7箇所のタンクを清掃し、タンク内の砂を除去した。今後、市内全地区のタンク清掃を実施していくとの報告がありました。

質疑終了後、本委員会に付託された各議案については、討論・採決後、全て原案どおり認定されました。



文教消防委員会

文教消防委員会での  
平成二十年度決算審査の概要

教育部

教育費の総額は約32億2千万円でした。

文教消防委員会は主として次の行政分野を担当します。  
① 消防や救急、救助、消防団に関する事  
② 幼稚園、小学校、中学校の学校教育に関する事  
③ 文化センターや運動公園の利用などを含めた、文化振興、スポーツ振興に関する事  
④ 図書館、富士山資料館の活動などを含めた生涯学習に関する事

教育委員は従来5名でしたが、児童生徒の保護者を委員に加える様に法改正され、昨年10月から6名となっております。  
小学校には約3億1千万円、中学校には約1億7千万円の管理運営費をかけました。  
多人数学級の授業を二人で行うなどして保護者に好評の非常勤講師は、合計66名で人件費は約1億4,400万円です。  
幼稚園費は、正規職員20名、臨時職員38名の人件費を含めて約2億9,300万円です。臨時職員の賃金は勤務内容がほぼ同一の正規職員の約三分の一で、依然として好ましくない状況でした。

消防部

これらに対応する会計は、一般会計の消防費、教育費です。  
消防費の総額は約8億8千500万円でした。

新たな消防力として期待されている須山分遣所の建設は順調に工事が進み、現在ほぼ完成しました。三交代で稼働するには10人の人員増強が必要で人件費もかかりますが、安全、安心のために市民の皆様のご理解をお願い致します。

富士山資料館は30周年記念の改修を行いました。これらを含めて社会教育関係には3億3千万円支出しました。  
総合グラウンドの多目的屋内競技場建設を含め、スポーツ振興関係には約6億8,300万円支出しました。有効利用しましょう。





さくら保育園視察（厚生委員会）



市営墓地建設地視察（総務委員会）

総務委員会

裾野市を支える新富士裾野工業  
団地企業誘致と経営戦略会議

企画部

企画部全体の一般会計歳出  
決算の総額は約25億3千674万  
8千円で執行率は69.2%。  
◎行政経営戦略会議では「フ  
ァルマバレー構想と地域づくり」  
について、各委員の提案を具  
現化するための戦略的・戦術  
的協議を行った。  
◎行政評価の推進は、外部委  
員会である行政評価委員会を  
6回開催。補助金に関する意  
見書を提出いただいた。  
◎行政評価支援委託では、コ  
ンサルタントへの委託を必要  
最小限にとどめ、職員による  
評価にシフトして24万6千円  
節減した。  
◎新富士裾野工業団地の平成  
20年度の契約企業は、関東自  
動車工業(株)、(株)旭洋工業製作  
所、トヨタ紡織(株)の3社で、  
2億4千700万円の手付金を受  
領。区画3は三州エッグ(株)の  
立地が決定している。  
◎平成20年7月から新ホーム  
ページに富士山ライブカメラ

とバナナ広告を設置。バナナ  
広告収入は7団体で49万円。

総務部

総務部全体の一般会計歳出  
決算の総額は約15億1千646万  
6千円で、執行率は95.1%。  
◎静岡地方税滞納整理機構へ  
10件（滞納額2千140万2千円）  
を移管。機構による徴収額は、  
1千449万7千円で徴収率は67.7  
%。納付を約束された508万6  
千円をあわせた回収率は約91  
%。  
◎幼稚園、保育所の臨時職員  
の待遇について、財源・近隣  
市町の状況・勤務状況等を調  
整し、金額的に妥当な平均8  
%の引き上げを検討した。

厚生委員会

健康で安心して暮らせる裾野市を  
目指した決算審査

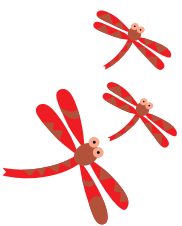
健康福祉部

健康福祉部全体の一般会計  
歳入歳出決算の総額と4つの  
特別会計の合計は112億8千864  
万2千円で執行率95.3%でした。  
◎特定健康診査特定保険事業  
の受診率は目標40%に対して  
32.88%。更にアップの為に21年  
度は受診券の工夫、期間終了  
後の追加健診の措置が図られ  
る。  
◎妊婦歯科検診事業は128人が  
受診したが予想より少ない。  
◎不妊治療費助成事業は65件  
助成し、確認できた母子手帳  
交付件数は21人であった。  
◎口腔機能向上事業は人数、  
回数も増え、喉のつまりの解  
消・むせの減少等の成果があっ  
た。  
◎病後児保育事業に対する周  
知PRの方法を考えていく。  
◎視覚障害者音声拡大機「よ  
むべえ」は市役所、福祉保健  
会館、図書館に設置された。  
◎国民年金加入者数は1万1  
千472名、受給者数は9千605名。

この他は受給権発生しない方。  
◎後期高齢者医療広域連合へ  
20年度より1名派遣している。  
◎高額療養費の増加は白血病、  
心疾患、心臓循環器、人工透  
析等が増えたことによる。

市民部

市民部全体の一般会計歳入  
歳出決算総額は22億1千833万  
6千円で執行率は97.1%でした。  
◎災害ボランティア立ち上げ  
の訓練内容は、社会福祉協議  
会、災害ボランティアコーディ  
ネータの会が中心となり、本  
部の立ち上げ、ボランティア  
の受け入れ訓練をしている。  
◎不法投棄のパトロールは火  
木曜日に林道部分の監視回収  
を87回行った。  
◎防犯カメラは裾野駅西に2  
台、岩波駅に2台増設され、  
犯罪の認知件数は前年度の164  
件減など成果があった。  
以上事業執行状況を確認し  
全会一致にて平成20年度一般  
会計歳入歳出決算の関係部分、  
国民健康保険、老人保健、後  
期高齢者医療事業、介護保険  
の各特別会計歳入歳出決算は  
原案の通り認定されました。







# 一般質問

## 公立幼稚園の3歳児待機児童の解消について

渡 部 昭 三



武道場（富岡中学校）

**質**

私立幼稚園への入園条件を緩和することで入園児の増加が見込まれます。従って待機児童解消にも繋がります。その為の私立幼稚園運営費等の財政支援策を伺う。

**答**

財政状況が良くなれば、より一層の授業料補助の拡大と運営費

**質**

公立幼稚園3歳児待機児童の解消を図るため、公立と私立幼稚園の授業料の格差を是正することが必要です。その為の財政支援策を伺う。

**答**

市内私立幼稚園への入園児童に対して、公立幼稚園の授業料と同額化、施設運営費の保護者負担をなくす方向で、拡大補助ができるよう平成22年度裾野市重点施策基本方針に盛り込むことを検討している。

**質**

平成24年度開始の中学校保健体育の武道必修化に向けての条件整備を伺う。

**答**

①原則として体育の教師が指導に当る。資質向上のため、教員研修を検討していく。②現状の施設を活用する。③特別な整備をすることは考えていない。

## 介護保険制度と新型インフルエンザ対策について

二 見 栄 一

**質**

介護保険制度における要介護認定見直しによる介護予防活動はどのように進めていくのか。

**答**

見直しによる介護認定は10月からの申請分から適用となる。9月までの更新の申請については、経過措置が適用され、従来の要介護度を希望により受けられる。

**質**

介護保険事業の今後は、入所施設の増設を早急に進めていく必要がある。

**答**

第4期介護保険事業計画では、介護老人保健施設の利用者は横ばいと見込んでいる。新たな施設の開設は無いが、介護療養型施設から老人保健施設に一部を転換予定の施設があるので介護老人保健施設の枠は多くないと見込まれる。

**質**

新型インフルエンザ感染拡大に備え、きめ細かな対応策を進めていく必要がある。

**答**

新型インフルエンザ感染拡大により、業務継続に影響が出るような場合に備えるため、業務継続計画の策定を早急に進めている。対策本部を設置した場合は、全ての情報が集められ、本部会議で対策を協議し、実施する。



介護保険事業計画書



# 一般質問



渋滞する国道246号（御宿）

**質** 庁舎耐震補強工事に伴う地下食堂の対策は。

**答** 営業を中止することや、会社との協議を行った。多目的利用を考えた。また、職員の食事場所を確保するため、給湯スペースやテーブルを確保したい。



柳端団地と工事中の改良道路

**質** 財政状況をかんがみ初期投資のかからない家賃助成制度で市営住宅とする考えは。

**答** 人口増としての政策として、住宅と関連するところがあれば広く検討する事も必要と考える。

**質** 地籍調査事業の室への格上げと予算の増額は。

**答** 限られた人員で最大の効果が得られるよう工程を組んでいる。また、委託等による効率的な作業実施に努力したい。

**質** 北部地域企業への通勤時の交通渋滞解消について。

**答** 旅行速度調査を実施し、「駿東北部地域円滑化会議」に市内渋滞状況を報告し対策の検討を依頼した。

**質** 国・県直轄事業の一部負担金廃止要求について。

**答** 県が実施する建設事業および国直轄事業に対する県の経費負担は、県の責任において実施すべきであり、負担金は廃止するよう、県市長会として要望していく予定。

**質** 市道・河川の維持管理に、市民の一層の協力を。

**答** 「市民協働によるまちづくり推進計画」に道路・河川の維持管理についても盛り込み検討している。

**質** 住宅マスタープランが策定され見直し時期の5年後までにと半年となったが住宅条例導入の進捗状況は。

**答** 県内でも制定が進んでいない状況もあり当市においても、まだまだ研究が必要。

**質** マスタープランでは裾野市公営住宅基本計画に基づく再生整備を図ることになっているが。

**答** 第4次総合計画に合わせた地域住宅計画を策定し

**質** 事業を推進して行く予定。借上げ型公営住宅制度として特定優良賃貸住宅制度がある。当市の実績は。

**答** 静岡県内には80団地があり、市内には1団地12戸の特定優良賃貸住宅がある。

**質** 道路改良工事による柳端団地と舞台団地との関連とは何を指し、その方向性は。

**答** 借上げ等を含めた検討をしていく。

## 都市基盤整備と道路、河川への取り組み、地下食堂について

杉 すぎ 本 もと 和 かず 男 お

## 裾野市住宅マスタープランの住宅施策の展開は

大 おお 庭 ば 高 たか 志 し





# 一般質問

## 市税収入減少への対応、 障害者福祉、医療について

小林 俊

**質** 今年度市税収入の現時点での見込み、必要な対応、来年度の市税収入見込み、来年度予算編成方針を問う。

**答** 今年度の市税収入の現時点での見込み額は、当初予算で10億9千600万円である。減収補てん債を借り入れる予定。22年度は95億4千800万円と見ている。要求枠の設定等で歳出削減に努め、財源不足は基金で調整していく。

**質** 障害者のための拠点作りは、新たな箱物を建設しなくても、現有施設の利用、借り上げなどの方法で早急に出来る筈である。どう考えるか。

**答** 健康福祉センター等の利用を検討したが、人数、規模、搬入搬出の作業があり、代替施設では対応が難しい。



市税収入見込み額は大幅減

**質** 裾野市を含めた県東部医療サービス提供状況をどう捉えるか。基礎的自治体として何をしなければならぬか。

**答** 5月末現在、県東部の駿東田方医療圏域で2千992人が入院され、95.6%の方の住所が圏域にある。また、裾野赤十字病院の果たす役割について、協力していきたい。

## 東中学校南側谷間への土砂搬入の 現状と対策は

岡本 和枝

**質** 東中学校南側谷間への土砂搬入が止まらない。隣接地への土砂流出など被害が発生している。市民生活を守る為の対策が急がれる。

**答** 土砂の流出など、条例適用の除外条件から外れている点もあるので、中止命令等の効力の有る条例の適用も視野にいれて現在検討している。

**質** 生活保護の窓口では、相談者の申請権を抑制しないように法に則った対応が求められるがいかがか。

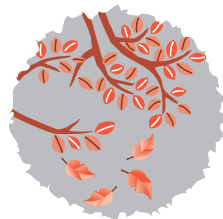
**答** 生活保護の相談に関しては、福祉事務所長以下でケース診断会議を開き、相談者から内容を伺い、意思の確認をしている。

**質** 公営住宅に比べて高い家賃の民間賃貸住宅に住む人に対し「家賃補助制度」の制定についての考えを伺う。

**答** 税の使用目的と税の公平性など慎重に検討しなければならぬ。



県営住宅（茶畑）





# 行政視察レポート

## 総務委員会

(視察先) 北海道夕張市

北海道帯広市

(日程) H21年6月29日～

7月1日

(概要) 財政再建団体に指定された夕張市及び十勝地方の中心都市である帯広市を視察した。夕張市では破綻した状況と原因について視察した。破綻の原因は、国、市、企業等が複雑に絡み合っているが、不適切な会計操作を止められなかった議会の責任は重いと感じた。帯広市ではデマンド交通(あいのりタクシー)を視察した。当市の地域性を考慮した公共交通を研究、導入することが必要と感じた。



総務委員会視察(夕張市)

## 厚生委員会

(視察先) 岩手県奥州市

山形県米沢市

(日程) H21年7月15日～

17日

(概要) 奥州市では市庁舎の中で障害者が運営するコーヒーショップを視察しました。市長のマニフェストのもと社会福祉法人の障害者雇用に対する積極的な取り組みと行政のバックアップがうまく機能していると感じました。米沢市では環境マネジメントシステムについて視察しました。環境に対する職員の意識は確実に向上しているように思いましたが、成果の部分を具体的な数値で検証できればさらに使いやすいと感じました。



障害者が運営する喫茶店(奥州市)

## 産業建設水道委員会

(視察先) 福岡県筑前町

長崎県島原市

(日程) H21年7月28日～

30日

(概要) 産業建設水道委員会では筑前町と島原市を視察した。筑前町では「食料・農業・農村基本条例」の制定経緯について視察した。農業は重要な問題であることを再認識した。島原市では、雲仙・普賢岳災害の復興と島原半島ジオパークについて視察した。ジオパークは近くでは小田原・箱根地区が取り組みを進めていることを知った。災害については、かなり復興されたが、災害の教訓を後世に伝えることの重要性を感じた。



産業建設水道委員会視察(筑前町)

## 文教消防委員会

(視察先) 宮城県多賀城市

宮城県気仙沼市

(日程) H21年7月6日～

8日

(概要) 多賀城市では「学校すくすくプラン」を視察しました。障害を持つ児童に補助員を配置する事業ですが児童にとっては欠かせない人材となつていくようです。気仙沼市では「面瀬小学校の国際環境教育」を視察しました。子どもたちが身近な環境と触れ合いながら自然を理解し持続可能な社会を担う子ども達に育てることが狙いであり、多くのプロジェクトを実施していますが、多くの効果が現れていると感じました。



文教消防委員会視察(多賀城市)

## 議員提出議案

# 裾野市議会議員の定数を定める条例の一部改正が可決

## 議員定数を3名減の21名に

副議長に  
八木長生議員を  
選出しました



副議長  
八木 長生

現在、裾野市議会の議員定数は24名。昨年9月に「議員定数等検討特別委員会」（各会派から選出された9名のメンバーで構成）を設けました。委員会では、①県内各市における議員数、議員報酬、期末手当、政務調査費②一般会計予算、自主財源に占める議員報酬等の割合③隣接県における類似市（人口4万人〜8万人）の議員報酬④各委員が直接市民から意見を聞く、などを調査、検証し、議員定数を3名減らし、21名とする条例の改正を提案しました。また、現状維持とする意見もありました。

9月議会に「定数条例の一部を改正すること」を議員提案し、賛成多数で可決されました。来年秋の市議会議員選挙より定数が21名になります。

議員定数のあり方は、憲法や地方自治法の本旨にかかる問題として、市民の権利、権限に係る問題、すなわち民主主義の根幹に関わる問題です。議会は行政のチェック機能であると同時に、市の政策形成過程や政策の実施過程に多面的に参画し、予算、契約、条例等の審議において市民の声を行政に反映させる最終意思決定機関であります。そのため、にどれだけの予算をかけるべきか、また多種多様な民意を最も公平公正に反映させるために、どのくらいの議員定数であるべきなのか、慎重に検討されるものであります。

### 〈提案理由〉

現在、裾野市を含む日本全体で、行財政改革が進められてきており、影響は議会にまで及んでおります。裾野市議会においても、議員の定数についてであり方を検討する時期に至っているとの認識のもと、議員定数等検討特別委員会が立ち上げられ、議員定数についての協議を11回行ってまいりました。

その結果、現在、地方自治法による法定議員数30名を24名に減員しておりますが、さらに3名の削減を実施して、定数を21名にするという意見で一致いたしました。そのため、今回、議員定数を21名にすべく条例の一部改正を提案するものであります。

**反対・賛成討論がありました。**

議案に対し、「議員の削減は『民意』が削られること」と反対討論がありました。「議会自らが身を削り、議会改革をすべき時」との賛成討論もあり、賛成多数で可決しました。

ご意見・ご質問を  
お待ちしております  
おります。



- 12月定例会は12月3日(内々定)からの予定です。議会の活性化の為に多くの市民の皆様の傍聴をお待ちしております。(委員会の傍聴もできます)
- 9月定例会は105名の方が傍聴されました。
- あて先 〒410-1192  
裾野市佐野1059  
市役所内議会事務局  
☎995-1839(直通)  
☎993-7546  
E-mail:  
gikai@city.susono.shizuoka.jp

## 編集後記

▼9月定例議会で、事業のスクラップ・アンド・ビルドの必要性について質問がありました。「長年財政力指数が全国ベストテン内にあり、現実にはビルド・ビルド・ビルドという要望ばかりであった。事業費の削減については、財政局任せであった。」と反省の弁(?)

▼市民3千人を対象に行われた今年度の市民意識調査。「今後全ての事業について、根本から見直しを行っていく必要がある」と述べられている。

▼市民生活の安全安心にしろ寄せのない「聖域なき」事業の見直しが求められます。

▼議員定数を21名に削減しました。定数等検討特別委員会では、議会の役割と責任を明確にするため「議会基本条例」の制定を提言しました。

## 編集委員

委員	委員	委員	副委員長	委員長
員	員	員	員	員
吉岡隆夫	三富美代子	増田喜代子	勝又 明	岡本和枝